
日本ミルトン協会 会報

Newsletter of the Milton Association of Japan

Web 版 Vol. 9 (2017)

詩は靈魂の韻律

会長 西川 健誠

ミルトン生誕 400 年の年に日本ミルトン・センターから移行した本協会も、今年で 10 年目を迎えます。その間中山先生、圓月先生、桂山先生と着実に担われてきた会の運営の重責を前に、浅学菲才の身として小さからぬ不安を覚えておりますが、何卒よろしく願います。

表題に引いた「詩は靈魂の韻律」という言葉は、無教会基督者・矢内原忠雄が自らの主宰する「土曜学校」で『樂園喪失』の講義を開くに際し、出席者に書き取らせた「開講の祈り」の中に登場するものです。この言葉のすぐ後矢内原は、ワーズワスのソネット「ロンドン：1802 年(“London, 1802”）」を踏まえて「世界は今日汝のミルトンを要す」と続け、「我らに高雅と徳と自由と力とを与うるために、汝の詩人の声をして再び我らの間に轟かせたまえ」と祈願します。

矢内原が『樂園喪失』講義を始めたのは太平洋戦争末期、東京が米軍機の空襲に晒される中でした。ワーズワスがミルトンの再来を求めるソネットを記した 1802 年のイングランドは、聖俗・公私・文武、いずれの領域においてもかれの目に「汚水の沼」(“fen / Of stagnant waters”)と映るものでした。そもそもミルトンの生きた書いた 17 世紀中葉じたい、混乱の時代でした。

翻って 2010 年代後半の日本も世界も、ミルトン、ワーズワス、矢内原の時代に劣らぬ混乱状態の中にあいましょう。特に「真実」への敬意低下には目を覆いたくなるものがあります。数年前、「真実っぽさ」(truthiness) という語がその年の流行語になった際、嫌な気分を覚えたのを記憶していますが、昨年には「ポスト真実」(post-truth)なる語が登場し、「真実」の価値下落も極まった、と感じずにはいられませんでした。

このような時代にあり、私達はますますミルトンの「靈魂の韻律」に耳を傾ける必要に迫られていると思います。「ミルトンを要」する時代は、ある意味人類にとって不幸なのかもしれません。またミルトンの真理追究精神が時として峻厳過ぎるよう感じられるのも確かです。しかし時代の混迷が深ければ深いほど、かれの魂から迸り出た言葉の価値は増すことでしょう。「靈魂の韻律」であるかれの詩文に耳を傾け、聞き取った所を社会に還元する事を、ミルトン研究者は一段と求められて

いないでしょうか。

幸い、本協会には、日本ミルトン・センター時代からの40年を超える蓄積があります。これまた「真実」の価値下落の病理であろう人文学蔑視の空気の中に、私達も置かれてはいますが、本協会の中堅会員はそれぞれの職場で堅実に教育・研究にあたり、また先輩会員は衰えを知らぬ勢いで研究成果を発表され、そして何より、優れた若い研究者を本協会に迎える事が出来ています。どうか会員皆様の力をお借りし、本協会を盛りたてて行く事が出来れば幸いです。

日本ミルトン協会 第13回 研究会 報告

日時 2016年7月2日(土) 午後3時～午後5時

場所 フェリス女学院大学 山手キャンパス 6号館第1別館 カフェテラス

発表

1. 大濱えり：ミルトンの ambition 再考
2. 滝口晴生：イコノクラスト・ミルトン

(出席者20名)

日本ミルトン協会第7回大会および2016年度総会 報告

日時 2016年12月3日(土) 午前11時00分～午後5時00分

場所 龍谷大学深草キャンパス

発表

1. 岡田善明：*Paradise Lost*における自然—その意味と由来—
2. 小林七実：護民官制とミルトン—クエーカー教徒迫害の狭間で

シンポジウム：Observations on Observations—ミルトンとアイルランド—

1. 金崎八重：文明と野蛮
2. 川島伸博：Intexti Britannii
3. 水野眞理：三つの虐殺をめぐる不都合な文書

総会議事録

1. 活動報告

川島事務局長より2015年度の活動について報告があり、了承された。

2. 2015 年度会計報告および会計監査報告（金崎八重、菅野智城）

金崎事務局委員から 2015 年度会計報告が報告され、菅野会計監査委員より監査の結果報告の通りで間違いなしとされた（箭川委員も事前に確認）。総会出席の会員により了承された。（7 ページ参照。）

3. 2016 年度予算（金崎八重）

金崎事務局委員から 2016 年度予算が提案され、総会出席の会員により了承された。（7 ページ参照。）

4. 2017 年度行事予定について

下記の通り提案され、了承された。

第 14 回研究会：7 月 1 日 神戸市外国語大学

第 8 回大会および 総会：12 月 9 日 関東圏の大学

5. 役員改選について

次期会長として西川健誠氏が承認され、西川氏により任命を受けた以下の役員（敬称略）もあわせて承認された。

事務局長：笹川 事務局（会計）：金崎 事務局（編集）：川崎

企画委員：圓月、桂山、川島、小山、富樫、水野

HP 委員：川崎、小林 会計監査：江藤、倉恒

（出席者 25 名）

日本におけるミルトン研究文献目録（2016 年度）

上利政彦他編 『英語文学テキストの語学的研究法』九州大学出版会。

川島伸博 「ミルトンとオーウェルの『動物農場』『龍谷紀要』第 38 巻第 2 号、49-65 頁。

道家弘一郎 「読解『失樂園』（五）』『聖心女子大学論叢』127 巻、6-58 頁。

西川健誠 「語り得ぬもの前での沈黙—ミルトン「受難」（"The Passion"）について—』『神戸外大論叢』第 66 号 2 巻、69-79 頁。

西川健誠 「受難をどう描くか・描かないか—ダンの宗教詩をめぐって」御輿哲也他編『言葉という謎』大阪教育図書、37-53 頁。

松本舞 『ヘンリー・ヴォーンと賢者の石』金星堂。

事務局だより

2016年7月2日

第13回研究会、第19回運営委員会（出席者8名）

運営委員会議事録は次の通り。

1. 2015年度決算について

金崎委員より報告。承認された。

2. 2016年度予算について

金崎委員より提案。一部、数字の訂正の上、承認された。

3. 次期会長の推薦

運営委員会は次期会長候補として西川健誠氏を総会に推薦することを全会一致で決定。（選考にあたっては、年功序列よりも、当協会に対する貢献度と研究者としての資質を重視した）。

4. ホームページにおける問い合わせ先について

新たに協会用のメールアドレスを取得し、それを問い合わせ先として掲載することに決定。そこから事務局長のアドレスに転送される仕組みとし、事務局交代の際には、その転送先アドレスを合わせて変更する。

5. 海外からの入会希望者の取り扱いについて

入会を認めることに決定。会費納入は、来日の際に日本円で払ってもらうか、海外送金の形で願う。また郵送物発送は行わず、メールによる添付で代行する。

6. 今後の活動予定について

12月の研究大会の発表予定者が報告された。また来年度は7月の研究会を関西地区、12月の研究大会を関東地区で行うことが確認された。

7. その他 ⇒ 特になし。

12月3日

第7回大会。第20回運営委員会（出席者8名）。

運営委員会議事録は以下の通り

報告事項：

1. 2015年度決算について

金崎委員より報告。承認された。会計監査委員により問題なしと確認された。

審議事項：

1. 2017年度活動予定について

以下の通り行う予定で合意。

7月1日 神戸市外国語大学 研究発表 二名

12月9日 青山学院大学 研究発表 二名

シンポオーガナイザ 川崎和基氏 タイトル Milton and New Sciences (仮)

2. 『会報』第9号巻頭言執筆者について

西川健誠氏に依頼することで合意。

3. その他：1. 西川委員より新体制案が提案され、承認された。⇒ 総会でも承認。

会長 西川健誠 事務局長 笹川渉 事務局 金崎八重(会計)、川崎和基(編集)

企画委員 圓月勝博、桂山康司、川島伸博、小山薫、富樫剛、水野眞理

HP 委員 川崎和基、小林七実

会計監査 江藤あさじ、倉恒澄子

(敬称略)

その他：2. 金崎委員より、会計監査における改善点が報告され、今後の対策を議論した。

現状では、会計年度の終わりと会計監査の時期とに開きがあるので、その間に手元現金に変化が生じてしまう。そのため、会計監査時に確認が難しい。

⇒ 今後も引き続き、改善方を検討する。

名簿追加

	氏名	〒	住所	メール・アドレス	所属(非常勤)
新規	金子千香				日本大学 大学院生
新規	平田真理				(関西学院 大学)
変更	大島範子				慶應義塾大学 大学院生
変更	大塚あゆみ				(明治大学・ 日本体育大学)
変更	菅野智城				鶴岡工業 高等専門学校

* WEB 掲載版には住所とメールアドレスの情報は記載いたしません。

訃報

本協会会員の長谷理恵先生が2016年7月1日に逝去されました。長谷先生は、2012年に青山学院大学で開催されたIMS10において、「To Read Milton's Work Through Japanese Sensibility」というご発表をされた後、体調を崩し、療養しながらも、最期まで教壇に立ち続けられたとのことでした。先生のMCJ・MAJへのご貢献に感謝しつつ、在りし日の先生を偲び、心より哀悼の意を表します。

日本ミルトン協会 2015年度会計決算報告 および 2016年度予算案

自2015年4月1日
至2016年3月31日

	摘要	2015年度予算案	2015年度決算	2016年度予算案
収入	会費	250,000	196,000	200,000
	前年度繰越金	2,553,285	2,553,285	2,604,815
	雑収入	0	898	0
	計	2,803,285	2,750,183	2,804,815
支出	会報関係費	70,000	35,502	70,000
	印刷費	0	0	0
	HP管理費	14,000	13,026	14,000
	会場関連費	120,000	96,408	50,000
	雑費	1,000	432	1,000
	次年度繰越	2,598,285	2,604,815	2,669,815
	計	2,803,285	2,750,183	2,804,815

基金会計

ゆうちょ銀行	1,500,000
--------	-----------

上記の通り間違いありません。

2016年12月3日

会計

金崎 八重

会計監査

篠川

修

菅野

智城



日本ミルトン協会規約

1. 名称 本会は、日本ミルトン協会（The Milton Association of Japan）と称する。
2. 目的 本会は、日本ミルトン・センター（The Milton Center of Japan, 1975年7月18日－2008年3月31日）の事業と組織を継承し、ミルトン研究を促進することを目的とする。
3. 事業 以上の目的を達成するために、次の事業を行なう。
 - (1) 研究大会
 - (2) 研究会
 - (3) 広報活動
 - (4) その他
4. 組織 本会は、本会の主旨に賛同する者をもって組織する。
5. 役員 本会に以下の役員を置く。役員を選出については付則に定める。

会長 1 名	事務局長 1 名
事務局委員 2 名	企画委員 6 名
ホームページ委員 2 名	会計監査委員 2 名
6. 機関
 - (1) 総会
本協会の最高決議機関とする。議長は会長が務める。
 - (2) 運営委員会
運営委員会は、本協会の運営に関する事項を審議する。委員長は会長が務める。運営委員会は、以下の役員によって構成する。

会長	事務局長	事務局委員
企画委員	ホームページ委員	
 - (3) 事務局
事務局は、会計、機関誌の発行、その他の事務を担当する。
 - (4) 企画委員会
企画委員会は、研究大会・研究会等の企画を行う。
 - (5) ホームページ委員会
ホームページ委員会は、本協会のホームページの管理・運営にあたる。
 - (6) 顧問をおくことができる。
7. 会計
 - (1) 会費
会員の会費は年額 5,000 円とする。ただし、学生会員の会費は

1,000 円とする。

(2) 会計監査

会計監査は、原則として年 1 回、会計監査委員が行い、運営委員会および総会に報告する。

(3) 若手支援

学生会員が研究発表を行う場合、1 万円を上限に自宅あるいは在籍校から会場までの実費交通費を支給する。

8. 規約の改正 本規約の改正は、総会における出席者の過半数の賛成によって実施する。

9. 設立年月日 本会の設立年月日は 2008 年 4 月 1 日とする。

10. この規約は、2008 年 4 月 1 日から施行する。

付則 役員の選出ならびに所在地

- (1) 会長は、運営委員会の推薦に従って、総会において選出する。任期は 3 年とし、再任を認めない。
- (2) 会長は、運営委員会に諮った上で、役員を任命する。
- (3) 事務局長は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、原則として最長 2 期とする。事務局委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、原則として最長 2 期とする。
- (4) 企画委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、原則として最長 2 期とする。
- (5) ホームページ委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、再任を妨げない。
- (6) 会計監査委員は、会長が会員の中から任命し、総会において承認する。任期は 1 期 3 年とし、再任を認めない。
- (7) 本会の所在地は次のとおりとする。

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学文学部 笹川渉研究室

2008 年 4 月 1 日

2012 年 4 月 1 日改正

2014 年 4 月 1 日改正

2015 年 12 月 5 日改正

2017 年 4 月 1 日改正

日本ミルトン協会 役員および委員

(2017年4月1日現在)

顧問 新井 明 聖学院大学

会長 西川健誠 神戸市外国語大学

事務局長 笹川 渉 青山学院大学

事務局委員 金崎八重 大阪府立大学工業高等専門学校

川崎和基 日本大学

企画委員 圓月勝博 同志社大学

桂山康司 京都大学

川島伸博 龍谷大学

小山 薫 同志社女子大学

富樫 剛 フェリス女学院大学

水野眞理 京都大学

ホームページ委員 小林七実 (同志社大学)

川崎和基 日本大学

会計監査委員 江藤あさじ (同志社女子大学)

倉恒澄子 (甲南女子大学)

* () は非常勤講師

日本ミルトン協会 会報
Newsletter of the Milton Association of Japan
第 9 号

2017 年 4 月 1 日発行

編集者兼発行者 日本ミルトン協会
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25
青山学院大学文学部
笹川 渉研究室
振替番号00990-5-306177